



PRODUCT BRIEF

SafeNet Tokenization

組織のデータの量と価値は増大しており、終わりのない侵害からデータを保護するには、もはや境界ベースのセキュリティだけに頼ることはできません。トークナイゼーション（トークン化）は、機密データを安全に保管、処理、送信できるトークンに置き換えます。トークナイゼーションは、クレジットカード業界で主口座番号（PAN）を保護する主流の方法となっているほか、その他の高価値データの保護にも使用されています。

機密データのトークン化と保護

SafeNet Tokenizationは、フォーマットを維持したトークナイゼーション（FPT）により、機密データの長さやフォーマットを維持し、関連トークンの保管、処理、送信を行うアプリケーション、データベース、レガシーシステムを変更する必要性を最小限に抑えます。このソリューションは、制限のないデータタイプのサポートを提供します。たとえば、スペースやダッシュを含む数値データ（クレジットカード番号、社会保障番号など）、英数字データ（パスポート、アカウント、電子メールアドレス、日付など）、元のデータの取得フォーマット（完全に明確な値またはマスクされているなど）が含まれます。データは、最後の4桁、最初の6桁、カスタムフォーマット、正規表現など、様々なフォーマットでトークン化できます

SafeNet Tokenizationは、オンプレミス、仮想、パブリッククラウド環境にわたって容易に導入でき、SafeNet KeySecureと組み合わせで実装されます。SafeNet KeySecureは、鍵とポリシーの一元管理を提供する、FIPS 140-2レベル3までの認定を受けたエンタープライズ鍵管理ソリューションです。このソリューションはSAPなどの製品を保護し、PCIトークナイゼーションガイドラインおよびVISAトークナイゼーションベストプラクティスに準拠しています。規制範囲の大幅な縮小、年次監査プロセスの容易化、総所有コストの削減を目指す組織にとって、理想的なソリューションです。

Vaultless（保管庫なし）のトークナイゼーション機能は、複数サイト（データセンター、パブリッククラウド、プライベートクラウドなど）に容易に導入できるオプションを提供します。Vault（保管庫）のあるアプローチと比べて、Vaultless（保管庫なし）のトークナイゼーションはより高いパフォーマンスとスケーラビリティを提供するため、Hadoop分散処理などのビッグデータソリューションに適しています。

SafeNet Tokenization のハイライト

透過的でセキュアなトークン化

- 機密データを、安全に保管、処理、送信できるトークンに置換
- きめ細かいアクセス制御を適用し、トークン化されたデータを表示できるのは許可されたユーザーやアプリケーションのみであることを保証
- 業界をリードするエンタープライズ鍵管理ソリューションにより、複数サイトにわたって鍵管理を一元化
- 一括トークン化ユーティリティおよびバッチAPIを利用

制限のないデータタイプと広範なトークンフォーマットのサポート

- 決済システムやビッグデータ実装などあらゆる環境において、主口座番号（PAN）やその他のデータタイプ（PCI、PII、PHIなど）をトークン化
- 正規表現やカスタムフォーマットなど、広範なトークンフォーマットをサポート

クラウドイニシアチブのサポート

- オンプレミス、仮想、パブリッククラウド環境にわたり導入可能
- 容易に自動化するChefレシピを使用して、より迅速にクラウドにトークナイゼーションを設定

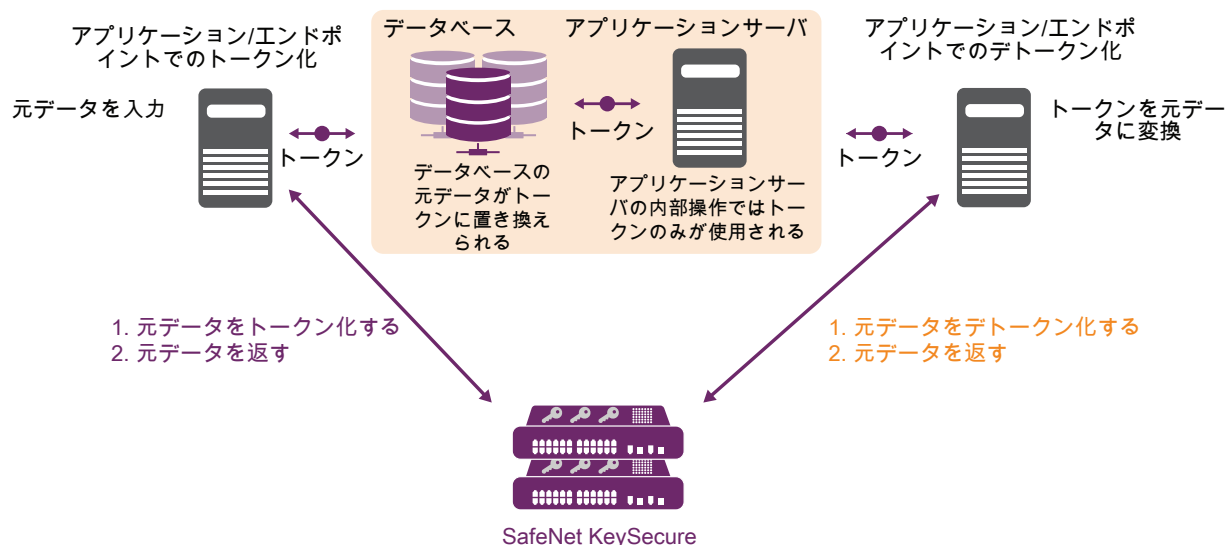
容易な導入と管理を実現

- フォーマットを維持したトークナイゼーション（FPT）により、アプリケーション、データベース、レガシーシステムへの変更が不要
- Webサービス（SOAPおよびREST API）により、高速でコスト効率の良い導入を実現
- 組み込みの、自動化された鍵ローテーションとデータ鍵再生成

コンプライアンスの達成

- 監査範囲および関連する運用コストの削減
- 包括的な監査およびロギング機能により、トークンや保護されたデータへのアクセスを追跡

SafeNet Vaultless Tokenizationの展開



技術仕様

フォーマットを維持したトークナイゼーション

- ▶ トークンのマスキングとLuhnアルゴリズムの合格/不合格チェックにより、トークン識別性向けのPCIトークナイゼーションガイドラインに準拠
- ▶ 複数のToken Vault (トークン保管庫) をサポート
- ▶ 高いスケーラビリティ - 最高のパフォーマンスを得るために、一日当たり何百万ものトークンを生成および取得することが可能

サポート対象のToken Vault (トークン保管庫) データベース

- ▶ Microsoft SQL Server
- ▶ Oracle
- ▶ MySQL
- ▶ Cassandra

注: Vault (保管庫) 自体が Microsoft SQL

Server、Oracle、MySQL、Cassandra上にある限り、すべてのデータベースですべてのトークン化フォームがサポートされます。

サポート対象のAPI

- ▶ Webサービス: SOAP、REST/JSON

- ▶ Java

- ▶ .NET

強化されたイベントロギングおよびモニタリング機能

- ▶ PCI Tokenization Managerイベントモニタリング仕様に準拠
- ▶ オンラインモニタリングとアラートでSNMPをサポート

トークンフォーマット

- ▶ ランダムまたは連続したトークンの生成
- ▶ マスク処理: 最後の4桁、最初の6桁、最初の2桁など
- ▶ 固定長や固定幅のマスキング処理
- ▶ 顧客定義されたカスタムフォーマット
- ▶ 暗号学的ハッシュ関数 (SHA2-256、SHA2-284、SHA2-51, Base16/Base64など)
- ▶ 正規表現 (Javaスタイル)
- ▶ 正規表現 (Javaスタイル)

ジェムアルトのSafeNetアイデンティティおよびデータ保護ソリューションについて

SafeNetの買収を通して、ジェムアルトは世界でも最高クラスの完全性を持つエンタープライズセキュリティソリューションを提供しています。本ソリューションにより、お客様はエッジからコアまで、業界をリードするデジタルアイデンティティ、取引、決済、データの保護が受けられます。ジェムアルトが新たに展開するSafeNetアイデンティティおよびデータ保護ソリューションは、重要なデータおよびデータが保管される場所を保護するための、革新的な暗号化、クラス最高の暗号管理技術、強固な認証およびアイデンティティ管理ソリューションを活用することにより、主要な金融機関や政府機関を含む多くの業種でセキュリティに対してデータ中心のアプローチを取ることを可能にします。これらのソリューションを通して、ジェムアルトは、ますますデジタル化が進む世界において組織が顧客の信頼を守るために、厳しいデータプライバシーの規制などを遵守する手助けをし、企業の機密情報、顧客情報、電子取引を情報漏洩や改ざんから守ります。

お問い合わせ: お近くのオフィスと窓口については、 <https://safenet.gemalto.jp/> をご覧ください。

ブログサイト: blog.gemalto.com/security

➡ GEMALTO.COM

gemalto
security to be free